



1階と2階をつなぐスロープ



広い廊下から眺める普通教室



図書室



木工室



学校概要

敷地面積 30,724 m²
 延べ床面積及び構造
 校舎 6,286.70 m²
 管理特別教室棟 (RC造2階建て)
 普通教室 (木造平屋建て)
 特別支援学級棟 (木造平屋建て)
 屋外施設 393.18 m²
 屋外トイレ・倉庫 (RC造平屋建て)
 ポンプ・プロパン庫 (RC造平屋建て)
 渡り廊下 (S造平屋建て)
 プール (RC造平屋建て)
 体育館 1,386.45 m² (RC造2階建て)
 学童保育施設 127.99 m² (木造平屋建て)
 合計 8,194.32 m²
 総事業費 約21億4千万円



▲記念品を受け取る木村駿一君



▲お礼の言葉を述べる奥田佳穂さん

たくさんの思い出を作りたい…

全校児童を代表して、益城中央小学校新校舎落成記念品を6年生の木村駿一君が受け取りました。また、奥田佳穂さんが、「中央小学校児童は、全員が、新しい校舎の完成を心待ちにしていました。私たち6年生が卒業する前に新しい校舎が出来上がり、勉強をすることができて嬉しいです。短い間ですが、1日1日を大切に過ごして、新校舎での初めての卒業生として思い出をたくさん作って卒業したいと思います」とお礼の言葉を述べました。

「巨人の星」等、数多くの作品を輩出している、彫刻壁画をデザインした川崎のぼる氏



益城町から 竜の背にのって未来へと飛び立とう！

益城町を代表する建物、阿蘇くまもと空港より、竜の背にのって子どもたちが未来へと夢を持って飛び立っていった欲しいという願いを込めたデザインを考えました。益城の竜については、およそ9,000万年前に生存した翼竜の化石が、広く益城と呼ばれる地域で多数みつっているし、益城町内の蔵の壁にも竜の彫刻が生きており、益城町とつながりの深い伝説の生き物だと感じます。土が良く、水のきれいな益城。そこから益城町の子どもの成長と、益城町民の幸福、ひいては益城町の発展の願いをこの作品の中で表現しています。

※彫刻壁画デザインコンセプトから